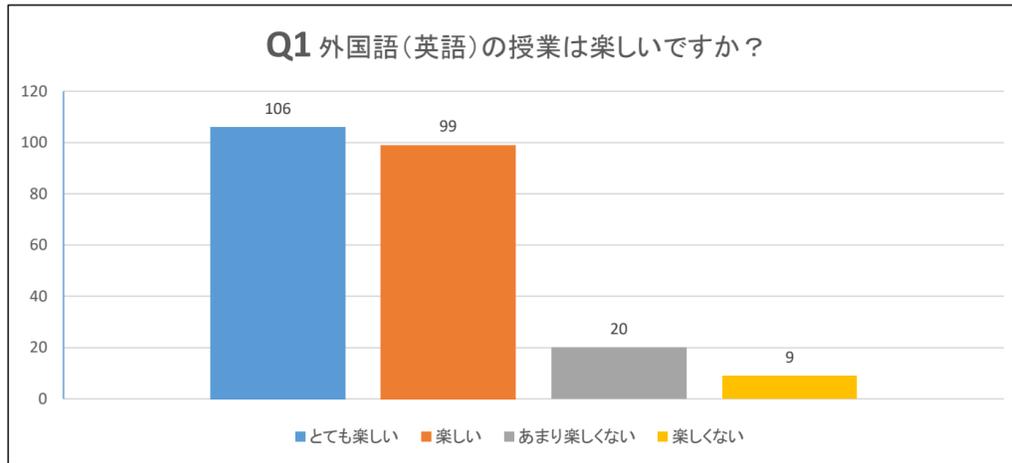
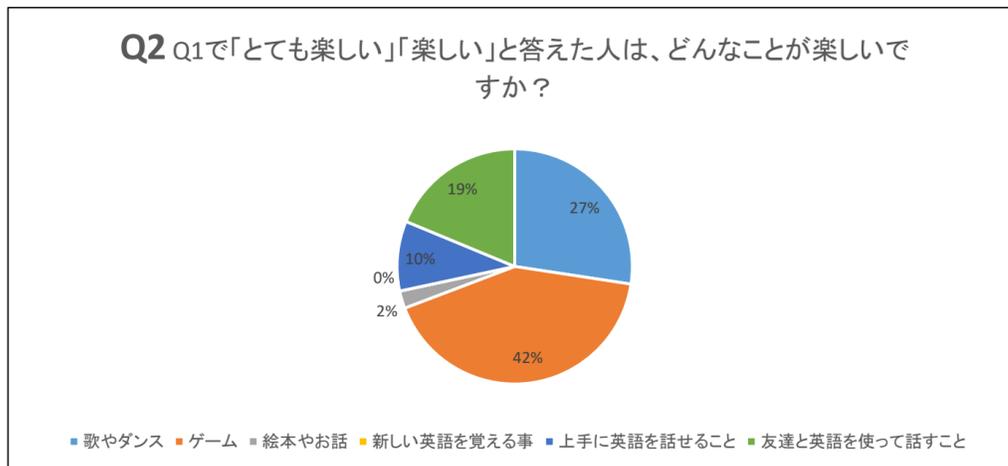


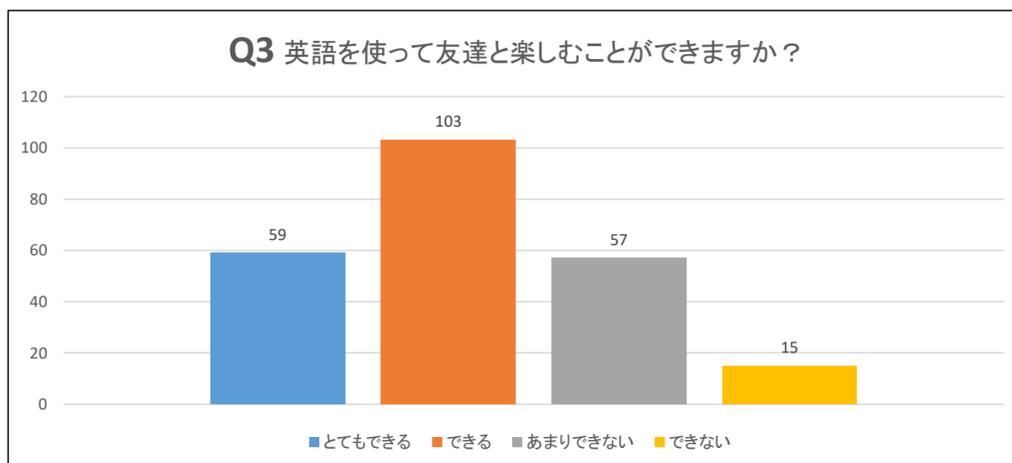
# 令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(松橋小学校)



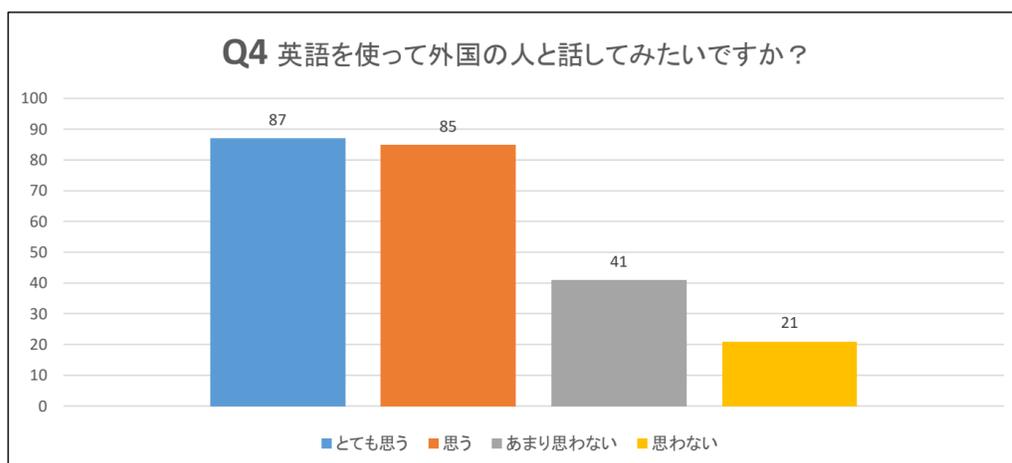
**【Q1について】**  
 ・外国語(英語)の授業がとても楽しい、楽しいと答えた児童の割合が87.6%と高い数値を示している。授業に楽しく意欲的に参加していると考えられる。



**【Q2について】**  
 ・子供たちに人気がある活動は  
 1位 ゲーム的な活動 42%  
 2位 歌やダンス 27%  
 3位 友達と英語を使って話すこと 19%  
 が分かった。活動の楽しさが外国語活動の楽しさにつながっていると考えられる。さらに、10%の児童が上手に英語を話せることが楽しいと答えている。このような児童をもっと増やしていけるように取り組んでいく。



**【Q3について】**  
 ・英語を使って友達と楽しむことができますかの問いに、とてもできる、できると答えた児童の割合が69.2%という結果となった。楽しいと答えた児童に比べると約18%減っていることから、英語を使って表出する活動に自信をもって臨むことができるよう手立てを講じていく。



**【Q4について】**  
 ・英語を使って外国の人と話してみたいの問いに、とても思う、思うと答えた割合は、73.5%であった。意欲の高さがうかがえるが、英語の必要性や、使ってよかったと有用感や達成感を感じることができる活動にも取り組んでいく必要がある。

**【保護者・学校関係者からの意見・要望等】**  
**保護者**  
 宇城市が一年生から英語活動を行っていることに対して肯定的な意見が多かった。また、英語の学習に対して子供たちがどうなることを期待するかの問いには、コミュニケーション能力の向上、外国の文化や習慣に慣れ外国に興味をもってほしいという意見が多かった。  
**学校関係者**  
 自分の世界を広げるために、意欲的に学んでほしいという意見があった。

**【考察・今後の展望等】**  
 子供を主体とした学習計画を担当がコーディネートできる授業を増やしていくとともに、習った外国語(英語)を使って発表する場面や生活の中で生かせる場面を学校の教育活動の中に位置付けていく必要がある。